

家庭用コミュニケーションロボット

「転ばぬ先の声かけ」 prevention is better than cure

家族での「会話」をコンセプトに、独居高齢者や夫婦高齢者に、声をかけることで「注意力」を喚起して「室内での転倒防止」や、食事時における「窒息事故防止」をはかります。

2世帯同居家族であれば、高齢家族に対して常に気を配り、声掛けを行って高齢者の注意力を喚起して事故を未然に防いでおります。

しかし、独居高齢者や夫婦高齢者では、会話も少なくなり、注意力が低下して事故の可能性が高くなっています。

近年、高齢者世帯の増加に比例し、家庭内の事故は増加傾向にあります。このコミュニケーションロボットは家族に代わり高齢者の行動を見守り、家族の代わりに声かけを行い、家庭内事故の防止を目的とします。遠隔地に住む家族とのコミュニケーションもサポートします。

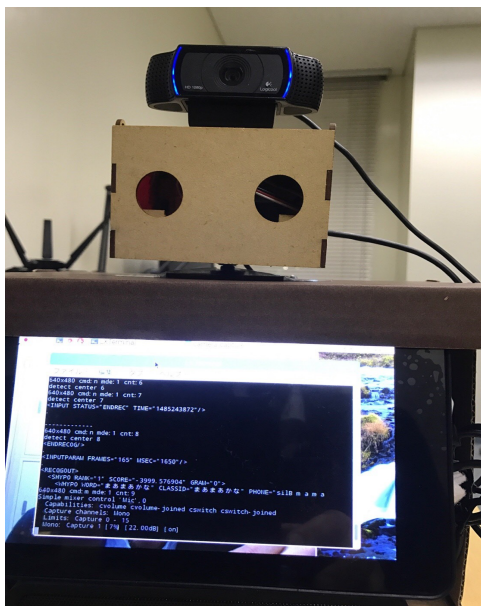


JBC 家庭用コミュニケーションロボットは、居間などに設置する据置き型ロボットです。頭部が動作することで、部屋のすみずみを見渡し会話を実現します。

音声認識技術

音声認識機能で、ロボットが生活の様々なケースで「声かけ」を行い不慮の事故を防ぎます。また、「お薬の時間だよ」、「今日は雨が降るかもしれないよ」といったお知らせ機能があります。

ロボットとの会話で、認知症の予防になるという論文もあり、生活に「張り」を持たせることが可能です。



見守り機能

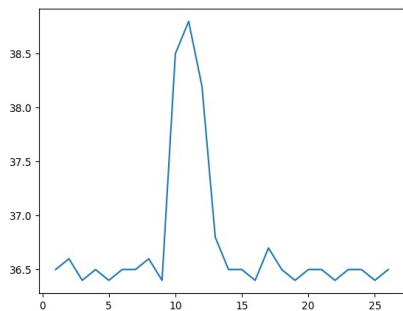
自治体・デイサービス・医療機関や離れた家族からでも、スマートフォンやパソコンから、1日の様子を確認することが可能です。異常があった場合は、メールでいち早く連絡がきます。

情報配信お知らせ機能

自治体・デイサービス・医療機関と連携し、レクレーション・定期健診などの情報配信を受け取り、お知らせすることが可能です。

テレビ電話機能

複数のロボット間で、テレビ電話を行うことが可能です。異常があった場合、ロボットがお知らせし、詳細な様子を確認することが可能です。



知的財産：出願中

発明の名称：ロボット、ロボットの制御方法及び制御プログラム 出願人： 発明者：高山 肇 他

共同研究先：東京農工大学大学院 工学府 機械システム工学専攻 水内研究室

学術相談：電気通信大学大学院 情報理工学研究科 中村（友）研究室



株式会社ジェイビーシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目18番12号

TEL 03-5388-4115 | Email jbc@e-jbc.biz | <http://www.e-jbc.biz>

2017-01-26
おばあちゃん家の1日

| | |
|-------|---------------------------|
| 7:00 | おばあちゃんが「おはよう」と言いました |
| 8:00 | おばあちゃんが朝ご飯を食べました |
| 12:00 | おばあちゃんがお昼ご飯を食べました |
| 15:00 | おばあちゃんが「買い物に行ってくるね」と言いました |
| 15:00 | おばあちゃんが部屋を出ました |
| 17:00 | おばあちゃんが部屋に戻りました |
| 17:00 | おばあちゃんが「ただいま」と言いました |
| 18:00 | おばあちゃんが夕ご飯を食べました |
| 19:00 | おばあちゃんが「お風呂に行ってくるね」と言いました |
| 19:00 | おばあちゃんが部屋を出ました |
| 19:30 | おばあちゃんが部屋に戻りました |
| 20:00 | おばあちゃんが「おやすみ」と言いました |
| 20:00 | 部屋の電気が消えました |

天気 晴れ
温度
湿度
サーモグラフィ

< 前日

健康管理機能

オプションで GPS により、外出したかどうかや、移動記録を取得し、徘徊などを追跡することが可能です。

また、心拍・運動量やサーモグラフィにより、体温、血圧などのデータを取得し、健康管理が可能です。異常が見られた場合には、音声・離れた場所にメールでお知らせすることが可能です。